



レファレンス事例集

事例 NO.86

発行者情報からの資料探索

・質問

図書館カウンターにて「論文の参考文献にある資料を見てみたい。しかし、入手方法が分からない。」と、問い合わせを受けた。

[学生，口頭，2014年12月]

・調査の経緯

質問者が提示した参考資料リストから，発行者（公益財団法人日本訪問看護財団）と資料名（平成13年度訪問看護従事者の処遇，労働環境などに関するアンケート調査）が判明した。ここから，この資料は雑誌では無く，単行書資料であることも推察された。

参考文献リストの表記では，当館OPACやCiNii Books¹⁾，NDL OPAC²⁾を検索しても該当資料はヒットしなかった。そこで，資料名を単語で区切り，発行者名や発行年を指定した検索を試すと，類似した名前のシリーズ物の資料がいくつか見つかった。これらのシリーズに，該当資料が含まれている可能性を考え，発行者のホームページ³⁾で確認することにした。

その結果該当資料に別称やシリーズ名はなく，CiNii Booksでヒットした類似の資料も，該当資料とは別資料であることが判明した。そのため，NIIのデータベースでは所蔵登録が無いと判断した。しかし，発行者のホームページ上で，該当資料は日本看護協会からの依頼によって作成されたものと判明した。また，日本訪問看護財団では資料の在庫がないことも確認できた。

ここで，探索対象を日本看護協会に変更した。同協会ホームページ⁴⁾を確認していたところ，「日本看護協会調査報告書シリーズ」がPDFファイルで公開されていた。これに該当資料若しくはそれが元になっているデータが載っていないか調べてみることにした。しかし，量が多すぎたため一時保留とした。

次に日本看護協会図書室の所蔵データベースを検索す

ると，該当資料を所蔵していることが判明した。そこで今回は一資料全体の閲覧が希望であるということと，著作権の都合上，貸借での利用を検討した。しかし，ホームページ上で，外部への所蔵資料提供手段として確認できたのは，論文のコピーを郵送するというのみで，貸借については記載がなかった。

図書館間相互利用による貸借が無理でも，依頼者が直接利用しに行くことができるかもしれないため，長野県看護協会など，近隣の看護協会や公共図書館で該当資料を所蔵していないか探した。しかし他に所蔵が確認できたのは遠方のみで，近隣の看護協会や公共図書館では確認できなかった。

・回答

資料の所蔵状況等を伝えと，入手のための料金や時間が想定よりもかかり，またどうしても必要という資料でもなかったため，今回は取り寄せないということになった。ただし，途中で参照した「日本看護協会調査報告書シリーズ」に類似の統計が載っているかもしれないので紹介したところ，これを参考にしてみたい，とのことだった。

・情報源

- 1) CiNii Books[internet]. <http://ci.nii.ac.jp/books/> [accessed 2015-02-23]
- 2) 国立国会図書館サーチ[internet]. <http://iss.ndl.go.jp/> [accessed 2015-02-23]
- 3) 公益財団法人日本訪問看護財団[internet]. <http://www.jvnf.or.jp/> [accessed 2015-02-23]
- 4) 公益社団法人日本看護協会[internet]. <http://www.nurse.or.jp/> [accessed 2015-02-23]

(信州大学附属図書館 医学部図書館 伊東 洋輔)